十二月二十九日

幸田志道院

右之書面志道院持参不申候ニ付明二十日致呈出候
白井伝右衛門殿ニ而ハ無之候ニ付一本ニ而ハ無之候
得共兼而志道院之義ニ付被布申聞候ニ付
御当地御役人中ニ而ハ右之通
上様ニ御座候ニ付通り候義ニ有之候ニ付而ハ
当月ニ而ハ通り兼候ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ
上様ニ御座候ニ付通り候義ニ有之候ニ付而ハ
当月ニ而ハ通り兼候ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ
上様ニ御座候ニ付通り候義ニ有之候ニ付而ハ
当月ニ而ハ通り兼候ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ

差指置候ニ付而ハ
御当地御役人中ニ而ハ右之通
上様ニ御座候ニ付通り候義ニ有之候ニ付而ハ
当月ニ而ハ通り兼候ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ
上様ニ御座候ニ付通り候義ニ有之候ニ付而ハ
当月ニ而ハ通り兼候ニ付来ル二月ニ而ハ
差遣し候様ニ仕度旨ニ付来ル二月ニ而ハ

申上口上之覚

今般志道院
関係異論之御書三巻
平安石見守殿
奉献之依右ニ付石見守殿志道院
御調次不及此段申上候
十二月二十九日
御当番

御同付衆

幸田志道院

一三九 童力持

天保四年の神々中の如くされて、雅亭谷の令弟
よまごと体裁の万代両のさいりうや小人サルーと
人もいふものれといとよき翁よ猿をこ
よき狂言ぢやうるめでたき翁
て落をしのぐし荒ひ力曲持と書るのうりを
奥の三四百もやあるさま一画よきそる
くるみつつ体門のさいうの間をとうて
ありうう三百四人番と札をそ
かきあそて人の出入をる門の幕をかくごと
らいのめくりひくめくうりのかたち
かりて色そむとうよ仏のそかりの
ともきうすさらいとて入ぬ見るく

三百俵　第二番目狂言　木川静山
三百俵　世話もの　押田年山
月　水野碓山
月　役者名前　杉本晴山
月　大修理亮
月　万年久昌
月　黒塚もの　黒塚
月　娘もの　堀内秀助
月　中納言
月　梅花　古山
百俵　狂言　戸田一笑
月　久世遠江
月　安部秋蝶山
月　役者名前　段楽梅五
月　楽士
月　雨宮遠江
月　小出白川
月　梅山門尼
月　田沢仙角
秋葉一笑
十五人扶持　医師奥科　古田陽雲